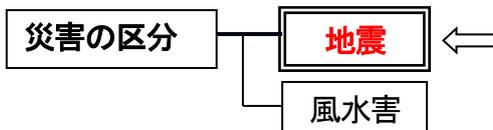


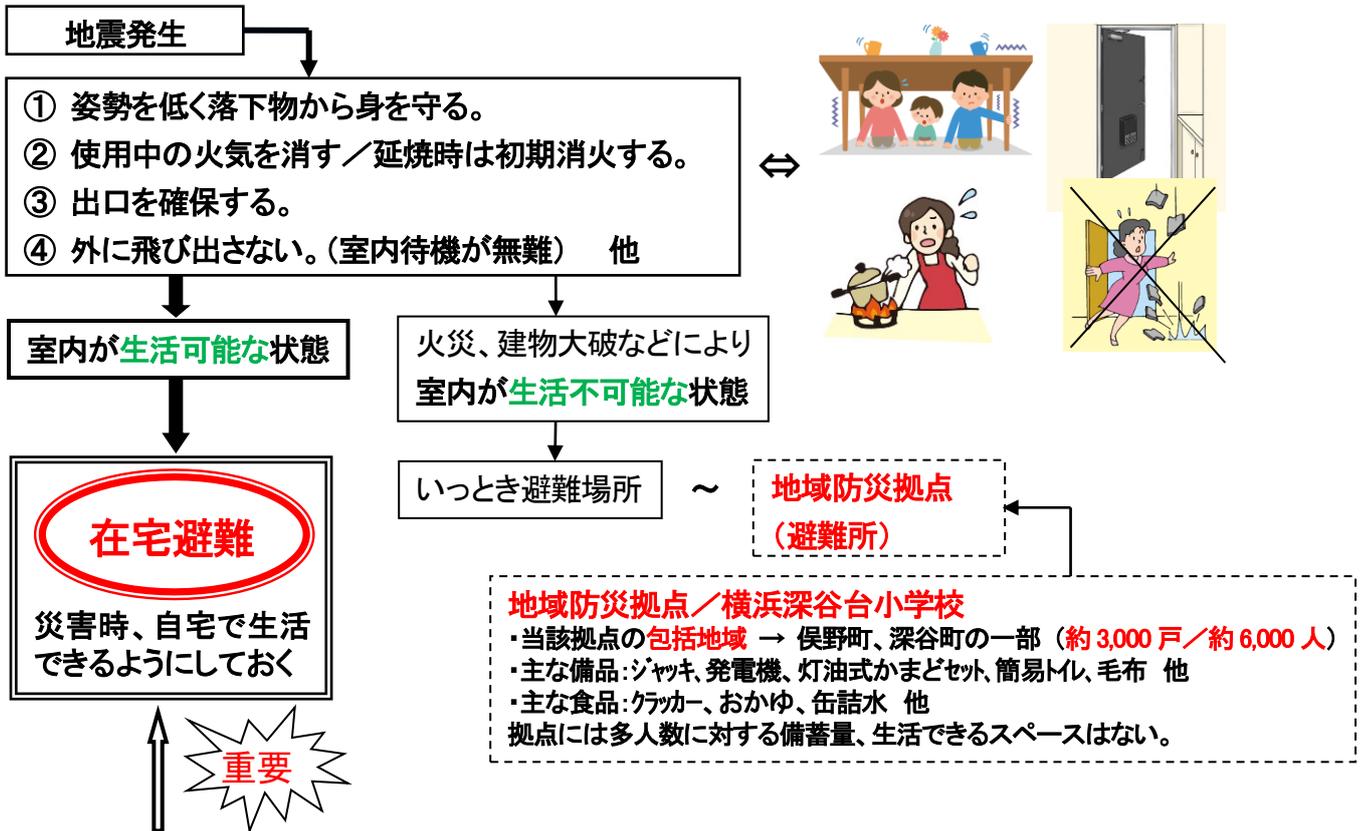
災害発生時、ドリームハイツ（マンション）では**在宅避難**（居住が可能であれば自宅に留まって生活する）が基本となっています。避難所(地域防災拠点)には定量の備品・食料の備蓄はありますが、対象地域の多くの人を受入れる量はありません。また、必要な生活スペースもありません。更にウィルス感染、プライバシー、セキュリティーなどの要素も発生します。ここで**在宅避難の重要性とその準備の心得**について記述します。

1. ドリームハイツの防災



立地、建物構造上、ドリームハイツにおいては「地震」の防災対策が主体となります。（以下、地震を対象として述べます）

2. 地震発生時の対応とその後の対応



在宅避難できるための準備



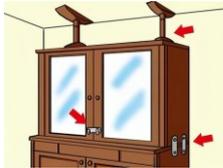
詳細：次ページ
(3項)

(裏面へ)



3. 在宅避難するための主な準備（下段案内のホームページ「ドリーム燦燦」も併せて参照ください）

3.1 揺れ被害の対策

	対策項目	実施事項	実施例
1	家具・大型電気製品の転倒防止	Lアングル、突っ張り棒、扉の感震施錠等による固定	
2	通電火災（停電→復帰後故障部位自動通電による発火）の防止	感震ブレーカーの設置	

（詳細は防災通信No.22 チェックリスト参照／「ドリーム燦燦」に掲載）

3.2 災害時生活必需品の備蓄と定期確認 ⇒ 備蓄量：1週間分程度

	備蓄品目	確認事項	確認頻度（参考）
1	非常用トイレパック	トイレパックの設置～固形化・廃棄の 実施体験	一度は体験
2	カセット ガスコンロ 、 ガス缶 （ガスボンベ：5本程度）	・コンロ→点火確認 ・ ガス缶の有効期限確認 →製造～ 7年以内 （ガス缶の底面に製造年月日の表示あり） ・腐食、打痕の有無確認	1年に1回以上
3	携帯ラジオ	電池残量と受信確認	同上
4	照明器具（懐中電灯、ランタン、ろうそく、ライター 他）	電池残量と点灯確認	同上
5	生活紙類（ティッシュペーパー、トイレットペーパー、生理用品 他）	保存量の確保	同上
6	マスク （感染症対策・非常時作業用）	保存量の確保	同上
7	非常食 （おかゆ・クラッカー・他 保存食）	ローリングストック の実施 適時消費し、嗜好食への入替え／適量確保と消費期限切れを防止する。	適時
8	飲料水 （1人あたり、 3ℓ／日 以上）	保存量の確保と消費期限	適時
9	医薬品（消毒薬・ばんそうこう・胃薬など常備薬及び持病薬）	保存量の確保	適時

（詳細：防災通信No.21 添付資料5 参照／「ドリーム燦燦」に掲載）

《防災隊ホームページ閲覧のお勧め》

「**ドリーム燦燦**（サンサン）」 ← インターネットから

（本HPは深谷台地域運営協議会および構成団体等から、地域への広報ツールとして運営）

タイトルページ右下部「**県ドリームハイツ防災隊トップ**」ボタンをクリック ⇒ **防災隊のHP**が表示
→ 防災隊の各種活動、防災マニュアル、防災通信などが掲載されています。

《秋の防災訓練のお知らせ》

実施日時： **9月26日（日） 10:00～**

訓練概要：（1）安否確認

（2）ライフライン欠如対応訓練

（電気・水道・ガス・電話・下水が使用不可を想定した生活訓練）